

～Current : 時代の流れ あるいは 新しい潮流～

# かねんと

2018.9.25  
No.53

「鹿沼のまちを元気にしたい！」そんな想いを抱いて日々活動されている女性に出会いました。彼女の名は鈴木篤子さん。一人で経済産業省企画のプロジェクト「女性の視点を生かしたまちづくり」に参加し、そこでの学びをもとに「まち元気づらぶ鹿沼」を発足。今年4月「鹿沼グルグルマップ」を発行しました。そして更にまちづくりの輪を広げつつあります。

マップ完成までの道のりを、活動仲間の井上さんと共にお話を伺いました。

Q. 「まち元気づらぶ鹿沼」発足とマップづくりに至った経緯を教えてください。

鈴木：今から2年前、「まちゼミ」に参加して1年が過ぎた頃。まちづくり活動のあり方に疑問を抱き始めました。もしかしたらこの答えは鹿沼で探しているのではないかもしれないと思い、東京の女性だけの研修に参加したのが始まりです。その研修会で「やりたいことはあきらめない」「問題を解決しようとするのではなく、新しい価値を創りだす方がよい」「一歩動けば違う世界がみえてくる」と教わり、これを是非、鹿沼で実践してみたいと思ったんです。マップ作成について

もそこで学びました。最初は、まちづくりのためにマップ作成の話をして、なかなか受け入れられませんでした。そこでまずは話しやすい女性3人で自分たちが出来ることから始めました。チラシを作ったり、他県へ視察に行ったり、立ち止まらずに動き、一年後、「マップづくりから始める鹿沼のまちづくり」(講師：まちとひと感動のデザイン研究所代表藤田とし子氏)を開催し、50～60人の参加者から有志15名が集まってマップ編集の為に「まち元気づらぶ鹿沼」が誕生しました。

井上：私はちょうどその時に鈴木さんから誘われて、もともと



かぬまグルグルマップ  
編集長 鈴木篤子さん



研修会「まちゼミ」の様子

### 主な内容

- P1～P2 インタビュー
- P3 マップ体験
- P4 女性に対する暴力・かねんとイチオシ 他

鹿沼市ホームページから「かねんと」バックナンバーをご覧ください。トップ>福祉・健康>人権・男女共同参画>男女共同参画>男女共同参画情報紙「かねんと」バックナンバー

「かねんと」はボランティア編集員が担当し、作成しています。—鹿沼市—

### 女性リーダーとして

Q. 女性編集長として苦労したこと、逆に女性でよかったと思っただけはありますか。

鈴木：「まちゼミ」もやっていましたが、改めて参加してみて「ああ、やっぱりみんな鹿沼の為に何か考えているんだな。」と思いました。

男女共に力を合わせてまちづくり

グルグルマップを手に、食・技・史跡をたずねる街あるき！



## 《DV＝ドメスティック・バイオレンスとは》

配偶者やパートナーから一方的に受ける「暴力」のことです。「ただの夫婦喧嘩??」ではありません!!

暴力の形は、殴る、蹴るといった身体的なものから、精神的・経済的・社会的・性的なものなど多岐に渡ります。「これってDV?」と思ったら下記に相談してください。

[DV相談窓口] 【いずれも相談無料・秘密は固く守ります】

### ▶鹿沼市

- ・女性相談(市民部人権推進課) ☎0289-63-8352 \*月～金曜日 8:30～16:00
- ・人権相談(市民部人権推進課) ☎0289-63-8351 \*毎月第2木曜日 10:00～15:00

### ▶とちぎ男女共同参画センター(パーティとちぎ)

- ・相談ルーム(女性のための相談) ☎028-665-8720 \*月～金曜日 9:00～20:00  
\*土・日曜日 9:00～16:00

- ・男性のための電話相談 ☎028-665-8724 \*月・水曜日 17:30～19:30

### ▶ウイメンズハウスとちぎ(NPO法人) ☎028-621-9993 \*月～金曜日 10:00～17:00

### ▶県民相談室(栃木県警察本部) ☎028-627-9110

### ▶宇都宮地方方法務局

- ・女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
- ・みんなの人権110番 ☎0570-003-110 \*月～金曜日 8:30～17:15

詳しくは、鹿沼市 市民部 人権推進課へ 0289-63-8352

### ♥かねんとイチオシ♥ 「アウカナ仏」



グルグルマップ中央に描かれている「アウカナ仏」。ご存じのかたも多いかも? 銀座通りを東に鈴木屋さんのまえて足を止め、東の空を仰ぎ見てください。そこには、日本の仏様とはちよつと違う仏様のお顔が! さらに東へ末広通りを進むと、山門の前には「宮街道」の道標が。700年前に「清林」という尼僧の再興との伝えのある古刹「清林寺」。山門をくぐると、先ほど拝願した「アウカナ仏」という異国の仏様が! 身の丈19m、屋外に2本の足でお立ちになる仏様としては日本一とか? 今から1600年前にスリランカのアウカナ地方に造立された国宝の仏様を「型取り」し、ここ清林寺に造立されたそうです。清林寺には、またボタンの花が! 花言葉「王者の風格」「富貴」、正に「アウカナ仏」にふさわしい花が五月初旬には咲き誇ります。

### 編集後記

古い風に乗って新たな挑戦

「俺より先に寝てはいけない!俺よりあとに起きてもいけない!飯は上手く作れ!」この歌詞の一節の様な時代を過ごしてきた私には、正直のところ「男女共同参画」という理念には少々疎い処がありました。しかし、「男女共同参画セミナー」でお話をさせて頂く機会があり、セミナーに参加された方々が全員女性であったことに驚かされたと同時に、女性の方々の「男女共同参画」への意識の高さを思い知らされました。

人生100年の時代がすぐそこに来ている今日においては、男女がお互いを理解し、尊重し、支え合える社会を、そんな大それた理念を持って、新たな挑戦をして行きたいと考えております。(太田)

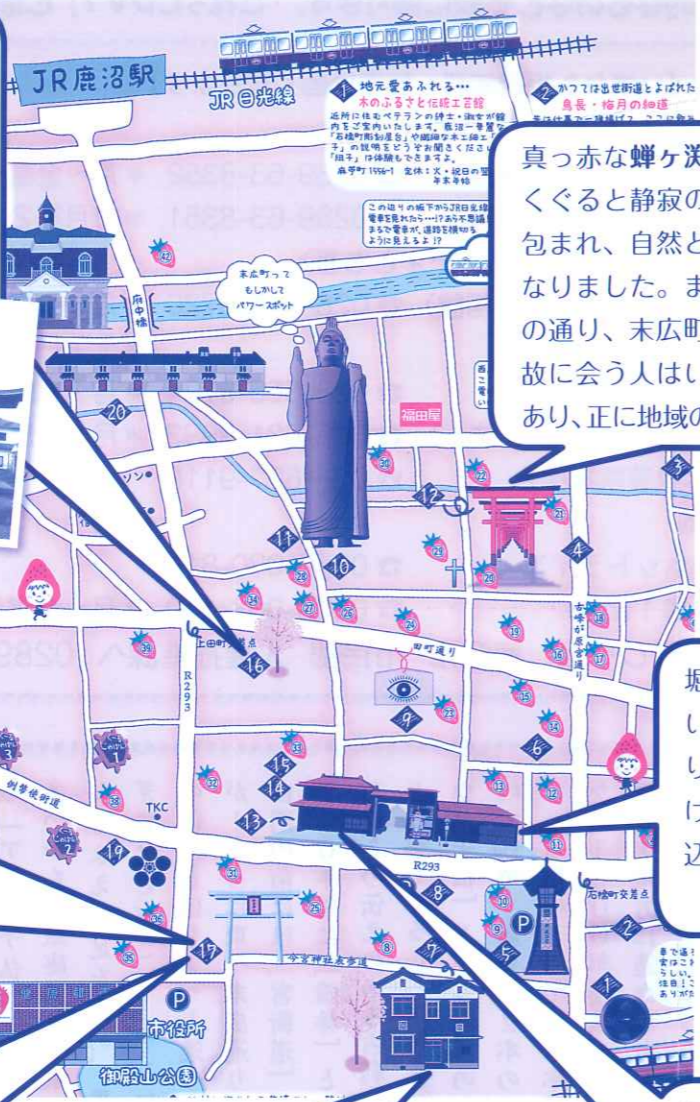
編集員 福田万里子・高橋和子・太田吉友・佐々木澄江

# グルグルマップを手歩いてみました♪

インタビュー終了後、素晴らしいお話を聞いた興奮冷めやらぬその場でまちあるき体験をしよう!と決まり、6月11日にマップを片手に編集員が集合。案内は、観光ボランティアで街歩きの実験豊富、そして今年度からかれんと編集員となった太田さんをお願いしました。



樹齢約480年の大銀杏がある、十二社神社。「景観樹木指定第1号」という大きさは圧巻でした。また神社の彫刻も中国の故事が描かれ、鶴に乗った仙人の姿に、はるか昔鹿沼の豪商が栄えた様が重なり歴史を感じました。次は、大銀杏が黄金色になる秋に訪れたいものです。



真っ赤な蝉々刈稲荷神社。鳥居をくぐると静寂の中凛とした空気に包まれ、自然と気持ちも穏やかになりました。また、白蛇のお告げの通り、末広町では火事や水の事故に会う人はいないという民話があり、正に地域の守り神なのです。



今宮神社ではひっそりとした境内を通り、本殿の横で足を止めると、時の流れを感じるような天女の装飾彫刻が迎えてくれます。



堀一面に貼られた古い工商案内地図があり、昔のお店を見つけて、なつかしさが込みあげてきました。



社殿の左側にたたずむ末社(9社)はお話にも夢中になっていると通り過ぎてしまいそうな佇まいです。



“インスタ映え”の駒橋歯科医院。明治後期に建築された国登録有形文化財だそうです。歯医者さんとして今でも使われています。はいからさんの恰好をして、ドアを通れば大正時代ヘタイムスリップできそうな建物。



旧商家前の久保町バス停は連子格子と高い門“いにしへの鹿沼宿”を感じさせます。



マップ片手に、約1時間半の街歩き。6月という事で、小雨まじりの空でしたが、汗もかかず快適な散歩でした。日頃車で通っている道ですが、こうして歩く事で、新しい発見が沢山ありました。改めて鹿沼宿として栄えた歴史ある町を、再確認することが出来ました。みなさんにもお勧めです。一度歩いてみませんか。(佐々木)

インタビューの中でお二人がお話されていた「わくわく感」を編集員4人で体験できました。実際にマップを手歩いてみると普段見過ごしてしまうポイントが紹介されており、次の場所は何だろうと歩きながらわくわくしました。マップも歩きながらでも見やすい文字サイズでばっちりでした。(高橋)

には、常識を乗り越える直観力や発想力そして共感力やつながり力が大事だ」と学んだのですが、特に共感力やつながり力は、女性の方が長けているかなと思うので、そこが利点だったかな。  
井上：やっぱり女性の編集長で話しやすかったと言っているのはあると思います。鈴木さんの細やかな気配りがあったからこそ、今も話し合いや、飲み会が続いているのだと思います。

## 感謝の気持ちが広がって

Q. マップ作りによる人とのつながりを感じたことは?

鈴木：メンバーはまちゼミをやっていた人を中心に、私が「やらない?」って声をかけて集まりました。活動の際には閉鎖的にならず他の団体にもお願い出来ることはお願いしました。そうして皆さんが応えて下さることに、感謝の気持ちが深まっていききましたね。

## 活動を通して自分を取り戻す

井上：メンバーが集まった時、アイズブレイクで「好きな色は?」と聞かれたんですが、毎日主婦としてお嫁さんとして流されていて、好きな色さえ忘れていたんです。この会の人と関わって自分を取り戻したとい



かめまグルグルマップ編集員 井上順子さんと共に

うのがあるんです。主婦としての毎日だけでは出来ないことに出会えて、本心に誘ってくれたことに感謝しています。

## まちの棚卸しと人材育成そして歴史ある建物

Q. これからの活動の方向性は?

鈴木：マップはそこから人と繋がったり自分たちも知らない鹿沼のまちの魅力を再発見するという事が目的なんです。『まちの棚卸し』というのですが、良いところも悪いところも含めてまちを見つめて。そこからまちのために何が出来るかをみんなで考えていきたいと思います。それから人材発掘。活躍の場がある人ばかりではありません。裏方やかなかなか表現の場を得られない人たちが、自分たちの想いを発表する、形にする場

所としてもこのマップづくりがあるのだと思います。その人たちが集まってスキルアップや育成ができればいいなと思います。  
井上：来年にはもう平成が終わりますが、そんな時代に江戸や、明治初期の建物が時を超えて鹿沼に存在しているんですよ。それらをみんなに知ってもらうための第2弾のマップを作りたい。まだ、掲載しきれないお店紹介もしたいですね。

## インタビューを終えて

貴重なお話をありがとうございました。鈴木さんの女性ならではの細やかな心配りがマップ作りという成果を挙げられた秘訣だと思っています。また井上さんの「私も好きな色があったんだ」という体験がとても印象的でした。社会や家庭の役割を果たすことは大切なことですが、自身自身で動き出し、そこで尚自分らしさに気づくということが素晴らしいことだと思いました。一人の女性が一つの疑問に対して動き出したことから、一人また一人賛同して大きなうねりが生まれていく。そして男女から合わせて鹿沼のまちをつくりていく。このような活動が、鹿沼市全体に広がっていけるように私たちが尽力したいと思います。



## 【まちゼミとは?】

まちの活性化を目的に、商店街の店主が講師となり、その道のコツや知識などを受講者に伝授し、店と顧客のコミュニケーションを図るものです。栃木県内では鹿沼が立ち上げ第1号。

## 【かめまグルグルマップ】

まちづくりの一環として、鈴木さんのグループ「まち元気くらぶ」が作成した鹿沼のまちを紹介したマップ。平成30年4月作成。新鹿沼宿や、まちなか交流プラザ1階「ふらっと」などに置いてあります。残り部数わずか!